

休学中の学生等を対象とした第二種奨学金の継続貸与について（採用後の支援）

1. 対象学種

- (1) 大学、短期大学の本科生、専攻科生及び別科生
- (2) 専修学校（専門課程）の本科生及び上級学科生
- (3) 高等専門学校 of 本科生及び専攻科生
- (4) 大学院修士・博士前期課程、専門職大学院（法科大学院を含む。）、博士・博士後期課程及び博士医・歯・薬（4年制）・獣医学課程の学生

2. 対象学年

全学年

※高等専門学校生（本科生）は4年次、5年次が対象です。

3. 対象者の要件

次の(1)～(3)の全てを満たす者

- (1) 令和5年度に第二種奨学金の貸与を受けている者
- (2) 令和5年度中に休学し、ボランティアに参加する等（学びの複線化）の活動を行う者

※申請時において既に復学している者は対象外です。

※令和4年度以前から休学しており、令和5年度も継続して当該活動を行っている者も対象となりますが、令和5年度に新たに申請する者については、継続貸与の開始が令和5年4月となります。

- (3) (2)の休学期間の活動が有意義であること及び奨学金貸与の必要性を在学学校長が認める者

※「社会的貢献活動」「専攻分野のプラスになる」「自己の人間形成に役立つ」等の活動内容であることが認められる場合は対象となります。

4. 提出書類

「休学时奨学金継続願」

※教育学部教務係へメールしてください。様式を送付します。

5. 提出期限

毎月10日（土日祝日の場合はその翌日）

〔書類送付先〕奨学指導課 異動・補導係

※提出書類に不備等がない場合は、本機構において復活等の処理を行い、提出の翌月に当該活動の開始月（令和5年4月以降）に遡って奨学金を振り込みます。

※当該活動を行う2か月前から当該活動を開始後2か月後までを目安として、本機構に書類を提出してください。

6. 貸与期間

活動を開始した月から最大1年間

※活動を開始した月が令和4年度以前の場合、継続貸与の開始は令和5年4月となります。

※令和4年度以前に1年未満の継続貸与を受けた者は、残り月数分の継続貸与を受けることができます。例えば、令和4年度に当該支援の継続貸与を6か月受けた者が、令和5年度に新たに当該支援を申請する場合は、残り6か月の貸与継続が可能です。

7. 提出等にかかる留意点

- (1) 活動内容を選択の上、活動内容詳細欄に次の2点を記載してください。
 - ・「休学し活動（具体的に記載）を行うこと」
 - ・「奨学金の継続が必要であること」
- (2) 断続的に活動を繰り返している場合に生じる活動停止期間についても、有意義な活動期間の一部として在学学校長が認める場合は、貸与を受けることができます。
- (3) 当該休学による貸与期間は、修業年限経過期間として取扱います。ただし、本取扱いにより休学中に第二種奨学金を継続貸与する期間については、第一種奨学金及び給付奨学金の修業年限は経過しません。
- (4) 対象者について、復学後に卒業延期となる場合は「第二種奨学金貸与期間延長願」を提出することができます（学業成績不振による卒業延期を除く）。
- (5) 活動期間終了後も引き続き休学する場合は、「休学時奨学金継続願」に記載の活動期間及び休学期間に基づき、本機構において活動期間終了年月の翌月から休止処理を行います。
- (6) 当該休学期間における継続貸与期間は、最大1年間です。活動期間開始年月から1年を超えて休学する場合は、上記（5）と同様に本機構にて休止処理を行います。
- (7) 令和4年度に当該支援の申請を行い、令和5年4月以降も当該支援の対象者として貸与を継続（最大1年）している者は、改めて書類を提出する必要はありません。

以上